

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.
To the Next Stage.**

**第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画
(既存拠点都市用)**

コンソーシアム等の名称：大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム

I. 全体ビジョン

大阪・関西万博や国際認知度等を活用して、世界との接続を強化し、地域でポテンシャルを有する『バイオ・ライフサイエンス』、『グリーンテック』、『デジタル』の3領域で比較優位性を築き、世界に伍するエコシステム拠点の形成に向けて取り組みを推進する。

以下目標達成を通じて前期計画を継承し、地域から5社のユニコーンの創出をめざす

全体
KPI

中間目標

最終目標



NEXT 京阪神スタートアップエコシステム

京阪神の強み・機会を活かし、関西圏のリソースを取り入れ、世界で活躍するスタートアップを輩出
海外からもプレイヤーが参入するグローバルなスタートアップエコシステムを形成する

関西の高い国際認知度



多数のグローバルカンパニーの存在
Heart of Japan
～歴史・食・観光・文化的魅力～

- ✓ 訪日外国人数 京阪神> 東京
- ✓ 京阪神の人口 京阪神> 東京
- ✓ 京阪神のGDP<オランダのGDP
- ✓ 外国人の人気旅行先地域上位 等

有望な研究シーズ・地域リソース
ディープテックSU輩出のポテンシャル



バイオ・
ライフサイエンス

グリーンテック

デジタル
(AI・Web3.0、量子等)



地域資源/伝統文化 国、企業等研究シーズ ものづくり
アトツギベンチャー カープアウト

大阪・関西万博を契機にした
様々な取組み

Global Startup EXPO 2025
大阪・関西万博レガシー利活用
うめきた2期
Nakanoshima Qross
けいはんな学研都市
IVS /HVC KYOTO 等



海外連携 大企業・VC
アクセラ 自治体 スタートアップ アカデミア 研究者 インキュベーション
施設 起業家



京阪神スタートアップエコシステム (2020～2024年度)

京阪神の3都市がそれぞれ自立したエコシステムを推進

3都市の産学公金が連携し、地域一体となったディープテックをはじめとするスタートアップの創出、成長支援環境を構築

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシ
テム形成
の土台を
作る

I. 全体ビジョン

【比較優位性の整理①】 当該3領域で世界でも競争力のある研究シーズを有し、グローバルに活躍する事業会社、支援活動も多数存在しており、有力なスタートアップを輩出するポテンシャルがある。

重点領域		バイオ・ライフサイエンス	グリーンテック	デジタル（AI・Web3.0・量子等）
主な ロールモデル SU				
	ポテンシャル	■ ライフサイエンス産業基盤（彩都、健都、中之島、神戸医療産業都市）と世界トップレベルの研究、再生医療技術 ■ 複数の病院や大学、研究機関を含め多くの企業・団体が集積するクラスターが存在し、ロボティクス、AI等の領域とも親和性の期待（理化学研究所やスパコン等もある） ■ Nakanoshima Gross、KRP、クリエイティブラボ神戸等をはじめとしたSUの受け皿になる充実したレンタルラボ ■ 京都大学や大阪大学を中心に自然科学分野における研究を国内でリード ■ 神戸大学と神戸市が連携し、研究と産業の両面からバイオものづくりクラスター構想を本格化（J-PEAKS、NEDO事業に採択）	■ 大阪大学レーザー科学研究所や京都大学のエネルギー理工学研究所等で核融合の研究が先行 ■ ペロブスカイトについて大阪・関西万博での実証運用のほか、化学メーカーが量産拠点を関西に設置 ■ 域内事業会社やスタートアップがペロブスカイト太陽電池の開発に取組む ■ JST共創の場形成支援プログラムに京大・京都府他が推進する「ゼロカーボンバイオ産業創出による資源循環共創拠点」が採択 ■ その他、水素・蓄電池技術、EVモーター・センサー、半導体・エネルギー企業による周辺技術が関西に集積	■ 大阪大学量子情報・量子生命研究センター（QIQB）による量子コンピューターの新しい計算方式の開発 ■ 量子科学技術研究開発機構（OST）関西光科学研究所での光量子の研究推進 ■ イーサリアム開発カンファレンス（EDCON）が、2025年9月に大阪で開催予定、Web3技術の普及と活性化 ■ アクセンチュアがAIセンターを京都に設置し、生成AIを中心としたAI技術の活用を推進、京都大学とも包括連携協定を締結 ■ 未来を計算するグローバルAIエコシステム（一社）Tomorrow Never Knows が始動 等 ■ 大規模なAI DCの構築（通信関連企業）等
既存の主なプレイヤー	事業会社	■ 製薬企業 ■ 機器メーカー 等	■ 素材、エネルギー企業 ■ 機器メーカー ■ ゼネコン、鉄鋼	■ 通信・IT・デジタル関連企業 ■ 半導体関連企業 ■ コンサルティング系企業のAI拠点 等
	VC・アクセラ	■ MedTech Actuator ■ KLSAP (Kansai Life Science Accelerator Program) ■ 事業会社CVC 等	■ 事業会社CVC 等 ■ 金融機関によるアクセラプログラム等を通じて、脱炭素社会の実現に向けた取組の実施 等	■ 通信・IT関連事業会社 等 ■ Plug&Play、グローバルブレイン、Delight Ventures ■ 5G X LAB OSAKA、Blooming CAMP等の支援プログラム
		■ 大学系VC（OUVC、iCAP、KUC）、日本ベンチャーキャピタル、ジャフコグループ 高原氏、みやこキャピタル 岡橋氏、Monozukuri Ventures 牧野氏、その他事業会社のCVC 等 ■ Plug & Play、起動（OIH）、フェニクシー、ATR等 ■ SMBC、MUFG、りそな銀行、関西みらい銀行、京都銀行、池田泉州銀行、みなと銀行 等（順不同）		

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

I. 全体ビジョン

【比較優位性の整理②】 当該3領域のコミュニティや活動拠点、関連施策を豊富に整備しており、今後も多くのSUの創出が見込まれる。

重点領域	バイオ・ライフサイエンス	グリーントック	デジタル（AI・Web3.0・量子等）
コミュニティ・支援機関	■ BiocK ■ 一般財団法人未来医療推進機構 ■ 大阪大学産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ ■ Link-J ■ 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 ■ HVC KYOTO Alumniコミュニティ ■ 京MED（医療・介護向け異業種連携チーム） ■ 関西バイオファンドリ 等	■ ZET-valley ■ ZET-BASE KYOTO ■ CN研究成果事業化促進フォーラム/グリーントックマッチング会 ■ 蓄電池人材育成等コンソーシアム ■ 産業技術総合研究所関西センター ■ KGC-net 京都グリーンケミカル・ネットワーク 等	■ 大阪駆動開発 ■ ソフト産業プラザTEQS ■ WEB3 Club ■ メタバース・Web3活用コミュニティ ■ AI Co-Innovation Labs KOBE活用推進協議会 ■ Commons Tech KOBE ■ （一社）Tomorrow Never Knows ■ アバター共生社会企業コンソーシアム ■ メディアパーク研究会 等
	■ Osaka Innovation Hub(OIH)、JAMBASE、FUTURWORKS、アンカー神戸、起業プラザひょうご、神戸大学BMO棟ダイセルOIホール、京都経済センター、KOIN 等		
拠点／設備・ハード	■ Nakanoshima Gross ■ 医薬基盤研究所 ■ 国立循環器病研究センター ■ 国立健康・栄養研究所 ■ フォトニクス生命工学研究開発拠点（大阪大学） ■ 京都リサーチパーク ■ 京都大学IPS細胞研究所 ■ Share Lab EVER SHIMOGAMO ■ 京都バイオ計測センター ■ 神戸医療産業都市 等	■ レーザー科学研究所（大阪大学） ■ カーボンニュートラル研究センター（関西大学） ■ スマートエネルギー研究所・（大阪公立大学） ■ エネルギー理工学研究所（京都大学） ■ NLAB（大型蓄電池システムの試験・評価） ■ LIBTEC（リチウムイオン電池材料評価研究センター） ■ ナノテクノロジーハブ拠点（京都大学） ■ カーボンニュートラルに向けた先進共同研究部門（京都大学） ■ 地球環境産業技術研究機構（RITE） ■ 水素・未来エネルギー技術研究センター（神戸大学）等	■ 量子ソフトウェア研究拠点（大阪大学） ■ 関西量子科学研究所 ■ Microsoft AI Co-Innovation Lab Kobe ■ スーパーコンピュータ「富岳」 ■ SPring-8 ■ NTT京阪奈データセンター（仮称） ■ 国際電気通信基礎技術研究所（ATR） 等
	■ 彩都、健都、中之島(Nakanoshima Gross)にて大阪ライフサイクル産業拠点形成を推進 ■ デジタルヘルスファンド大阪 ■ 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構による支援 ■ 京都市ライフイノベーション創出支援センター（KLISC）による大学研究者やスタートアップ等への支援及びコミュニティ構築 等	■ カーボンニュートラル技術開発・実証事業 ■ カーボンニュートラル等新技術ビジネス創出支援事業 ■ グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクト ■ チャレンジ応援資金【SDG s ビジネス支援資金】 ■ 産業創造リーディングゾーン（ZET-valley）による拠点整備やオープンイノベーションによる技術の実装、国際カンファレンス（ZET-summit）を開催 等	■ AIスタートアップ創出事業（SET SAIL !） ■ テック・ビジネス・アクセラレータSUITCH ■ イーサリアム開発カンファレンス（EDCON2025）の大阪開催 ■ 神戸市高度デジタル人材育成プログラム ■ IBM BlueHubプログラム in Kyoto ■ 産業創造リーディングゾーン（太秦メディアパーク）において共創プロジェクト創出や国際ピッチイベント（太秦NINJA PITCH）を開催等 等
関連施策	■ 地域の産学公金が一体となった成長段階に応じた支援（KSAC、起動、KSII） ■ ディープテックSUのハンズオン支援体制（チーム）の確立 ■ けいはんな学研都市における最先端研究の推進 ■ 事業化候補となる研究シーズの開拓体制の確立、NEDOとの連携強化 ■ 幅広い産業を支える半導体の素材研究から半導体デザイン、生産、実装まで一貫した半導体エコシステムを構築する「京都半導体バレー構想」の推進 ■ DEEPTTECH FRONTIER KANSAIによる発信 等		

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

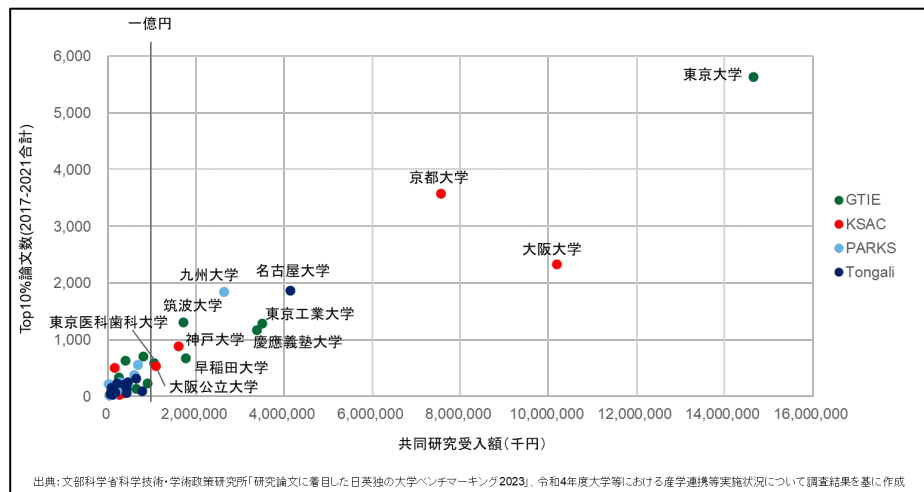
スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

I. 全体ビジョン

【比較優位性の整理③】 京阪神は、当該3領域で全国トップクラスの大学の研究力を有し、国内外から注目される研究拠点や産学によるコンソーシアムやプロジェクトが多数展開されている。

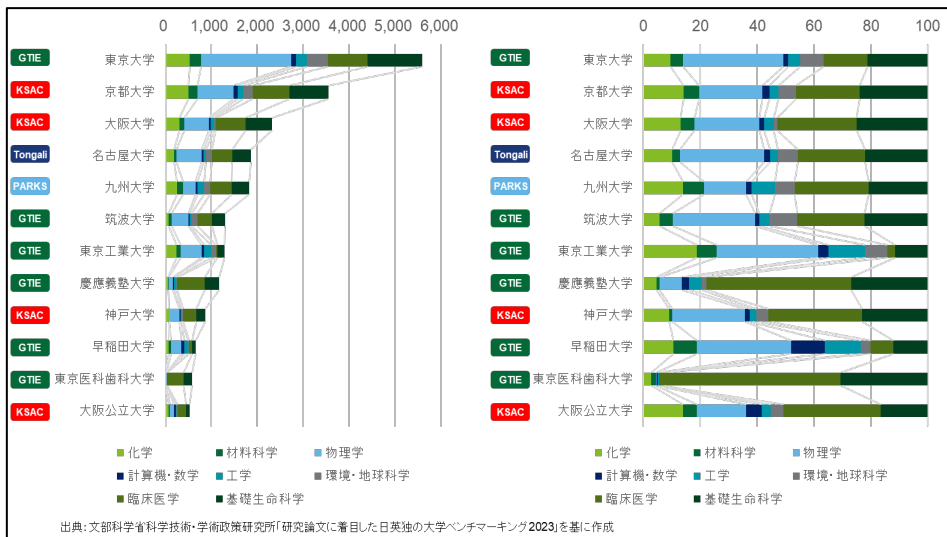
グローバル拠点都市における大学研究能力比較



自然科学系分野における自大学がリードする論文(2017~2021年合計値)

大分類	小分野	1位	2位	3位	関連ベンチャー領域
化学	化学	京都大学	東京大学	大阪大学	バイオ・ヘルスケア、素材
材料科学	材料科学	東北大学	東京大学	大阪大学	エレクトロニクス、素材
物理学	物理学	東京大学	京都大学	東北大学	航空宇宙
宇宙科学	宇宙科学	東京大学	京都大学	名古屋大学	
計算機・数学	計算機科学	大阪大学	京都大学	京都大学	AI・IoT
	数学	東京大学	京都大学	大阪大学	
工学	工学	東京大学	京都大学	東北大学	エレクトロニクス、医療機器、ロボティクス、航空宇宙
環境・地球科学	環境/生態学	北海道大学	東京大学	京都大学	環境・エネルギー
	地球科学	東京大学	京都大学	北海道大学	
臨床医学	臨床医学	東京大学	大阪大学	京都大学	バイオ・ヘルスケア、医療機器
	精神医学・心理学	東京大学	京都大学	慶應義塾大学	
基礎生命科学	農業科学	九州大学	東京大学	北海道大学	
	生物学・生化学	東京大学	京都大学	大阪大学	
	免疫学	大阪大学	東京大学	北海道大学	
	微生物学	北海道大学	東京大学	大阪大学	バイオ・ヘルスケア、医療機器
	分子生物学・遺伝学	東京大学	京都大学	大阪大学	
	神経科学・行動学	東京大学	京都大学	大阪大学	
	薬理学・毒性学	東京大学	北海道大学	東北大学	
	植物・動物学	東京大学	京都大学	北海道大学	

主要大学分野別TOP10%論文発表状況 (左図：発表数、右図：%)



各領域における多数の研究・活動施設の事例

バイオ・ライフサイエンス	■ フォトニクス生命工学研究開発拠点(大阪大学) ■ メドテックイノベーションセンター(神戸大学) ■ 世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点(国立循環器病研究センター) 等
グリーンテック	■ レーザー科学研究所(レーザー核融合研究)(大阪大学) ■ カーボンニュートラル研究センター(関西大学) ■ スマートエネルギー研究所・(大阪公立大学) ■ エネルギー理工学研究所(京都大学) ■ 水素・未来エネルギー技術研究センター(神戸大学) ■ ゼロカーボンバイオ産業創出による資源循環共創拠点(京都大学) ■ バイオナノマテリアル共同研究拠点(京都大学) ■ 京都大学カーボンニュートラルに向けた先進共同研究部門 ■ 地球環境産業技術研究機構(RITE) 等
デジタル	■ 量子ソフトウェア研究拠点(大阪大学) ■ 関西光量子科学研究所(QST) ■ Microsoft AI Co-Innovation Lab Kobe ■ スーパーコンピュータ「富岳」 ■ アクセンチュア・アドバンス・AIセンター京都 ■ ATR(国際電気通信基礎技術研究所) ■ NICT(情報通信研究機構) ■ NTT 京阪奈データセンター(仮称) 等

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシ
テム形成
の土台を
作る

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

万博・GSEをはじめとするグローバルイベント、地域一体となった情報発信強化を通じて、広域なネットワークを築くとともに、現地事業者との密な連携を行い、世界とシームレスに繋がる。

海外エコシステムとの連携

国内SUの海外進出

海外SUの呼び込み

》》》 これまでの主な取組み及び実績

■ グローバルネットワークの構築

- Hack Osaka、GSEプレイベント（DEEPTeCH KANSAI）/Startup Horizon、IVS等のグローバルイベントの開催
- 500、Plug and Play、Rainmaking Innovation、MedTech Actuatorの活動招致
- 海外イベント出展（大阪商工会議所 CES2025でのJAPAN TECH出展、SXSW）、海外エコシステム都市との連携（シンガポール等）等

■ 海外向け情報発信

Kansai Startup Mashups 情報発信 等

■ 海外エコシステムとパートナー契約やMoUを締結、海外拠点開設

- OIHで海外20の国、都市、官民支援機関とネットワーク構築
- けいはんな学研都市が海外イノベーション支援機関（28機関）とのMoU締結
- 大阪大学ベンチャーキャピタルがBerkeley SKYDECKとパートナー契約締結
- 京都大学がシンガポール、大阪大学がシリコンバレーに連携拠点開設
- 起業プラザひょうごのシンガポール拠点開設 等

- KSACをはじめ地域の各機関による海外拠点開設・ネットワーク構築（シリコンバレー、ボストン、ニューヨーク、シンガポール等）
- 海外主要プレイヤーによる拠点開設 MedTech Actuator、Plug and Play、Rainmaking Innovation等
- 関西一体となった情報発信体制の整備

》》》 課題を踏まえた今後の主な取組

海外との接続強化

- 万博・GSE・IVSをはじめとするグローバルイベントを通じたネットワークの拡大
- 世界的なプログラムの展開によるネットワーク強化
- 海外エコシステム拠点とのMOU締結、イベント等によるネットワーク拡充
- KSAC New York Office開設
- 神戸空港国際化による海外連携強化（神戸市シンガポール拠点開設） 等

情報発信の強化

- 関西のポテンシャルであるディープテックの発信を強化「DEEPTeCH FRONTIER KANSAI」 等

現地のキーパーソンとの連携

- 現地ネットワークを有するプレイヤーとの連携
 - ・CounterPartVC（シリコンバレーで業界最大級のCVCコミュニティを運営）
⇒GSE関連イベントでの海外CVC招致で連携
 - ・MedTech Actuator（豪州を本拠とする医療・ヘルスケア分野に特化したグローバルアクセラレーター）
⇒ ライフサイエンス分野のグローバルSU輩出、招致で連携 等

※施策の実施主体は、自治体や支援機関、大学、事業会社、団体等、各具体施策の推進者

万博・GSEを契機に海外エコシステムとの連携を加速

うめきた2期 JAMBASE



》》》 評価と今後の課題

評価

- 米国やASEAN諸国を中心にイベント共催、視察、拠点開設等が行われ、海外との連携活動が行われつつある

課題

- 部分的な繋がりが地域へ展開させることが必要
- 広域で深いネットワーク形成し、世界でのプレゼンスの向上することが必要

》》》 KPI

海外機関との連携した取組み数（累積）

実績：49件（直近1年）

中間目標

110件

最終目標

190件

海外機関の国内進出数（累積）

実績：6件（これまで）

中間目標

8件

最終目標

18件

全体
ビジョン

世界と
シーム
レスに
繋がる

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシ
テム形成
の土台を
作る

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

SUの海外進出に向け、海外と連携したグローバルスタンダードのプログラムを実施し、海外進出のマインドセットと現地ネットワークの活用による効果的な進出支援を行う。

海外エコシステムとの連携

国内SUの海外進出

海外SUの呼び込み

》》》 これまでの主な取組み及び実績

■ グローバルアクセラレーションプログラム等の実施

- 500、Plug and Play、MedTech Actuator、BioLabs等海外アクセラレーターによる支援
- KGAP/けいはんな学研都市（メンタリング、PoC、海外特別プログラム、グローバルピッチ等）
- KLSAP/神戸医療産業都市（メンタリング、グローバルピッチ等）
- GET IN THE RING/ OIH等グローバルピッチイベントの開催
- 海外VCとのビジネスマッチング
- 自治体連携による海外展開プログラムSDGs Challenge 等

■ 海外でのプロモーション支援

- JETRO大阪によるシンガポールでの展開支援（Singapore Week of Innovation & Technology）
- U-Startupを通じたCESへの出展支援
- KSAC海外進出支援（New York Office）
- シリコンバレーツアー（Osaka University DeepTech Showcase） 等

海外進出スタートアップの輩出

- **Thinker:**
2024年12月 Unistop Tech Pte. Ltd. (SGP) と基本合意書締結、Japan-US Innovation Awards 2025 Showcase 選出
- **EX-Fusion:**
2023年10月豪州子会社設立
- **RUTILEA:**
サウジアラビアVCから資金調達
- **Sagri:**
2023年1月 シンガポール法人設立

》》》 評価と今後の課題

評価

- 海外進出に向け国際イベント、海外ネットワーク等支援環境が進み、海外拠点開設や海外VCからの資金調達等、具体的な成果が出始めている
- 一方で多くのSUが国内での成長志向となり海外進出マインドが薄い。また海外現地の事業をサポートする体制が十分でない

課題

- SUの海外進出に向けたマインドセットが必要
- 海外現地での事業展開を支援するサポート体制を通じた海外進出実績の増加が必要

》》》 課題を踏まえた今後の主な取組

世界的プログラム展開・連携

- 中之島クロスでの海外プレイヤーによる支援プログラムの展開
- MedTech Actuatorの本格展開（シード期：教育・国際ピッチ、ミドル期：事業成長）
- 神戸医療産業都市での海外プログラムの推進
- EDCON2025（イーサリアム開発者会議が2025年に関西で開催）
- 海外インキュベーター・アクセラレーターとの連携プログラムの増設
- KSACのシーズや大学発SUの海外投資家とのマッチング

ポーングローバルのマインドセット醸成

- 中之島クロスでのイノベーター育成、事業化支援プログラム
- 地域独自のグローバルアクセラレーションプログラム等の実施（拡充）
 - KGAP+（Keihanna Global Acceleration Program Plus）
 - KLSAP（Kansai Life Science Accelerator Program）
 - U-Startup KANSAI 等

ビジネスマッチングの促進

- Global Startup Expoを始めとするグローバルイベントの開催
- 現地キーパーソンの活用を通じた海外VC、CVC等とのビジネスマッチング 等

※施策の実施主体は、自治体や支援機関、大学、事業会社、団体等、各具体施策の推進者

》》》 KPI

地域内のSUの海外連携数（累積）

実績：70件（これまで）

中間目標

80件

最終目標

170件

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

海外機関と連携した国際イベント等によるスタートアップの招聘や経済団体と連携したビジネスマッチングの促進を行うとともに、海外SUが活躍しやすい環境を整備し、誘致を推進する。

海外エコシステムとの連携

国内SUの海外進出

海外SUの呼び込み

これまでの主な取り組み及び実績

■ 海外SU誘致プログラムの実施

- Osaka Landing Pad：阪急阪神不動産を中心とした官民による海外SUの相談窓口、情報発信、ビジネスマッチングによる誘致活動
- Osaka Spring Board：海外機関と連携した、海外SUの大阪・関西の進出を支援（Enterprise SingaporeやStartup Island Taiwan）
- 90days Kyoto Stay Program：日本での起業をめざす外国人起業家を対象に、ビジネスと生活の両面を集中支援する滞在型誘致プログラム 等

■ 海外SUの招聘、ビジネスマッチングの実施

- Hack Osaka、Global Innovation Forum海外SUとのミートアップイベントの開催や、NEXT Kitchen、Climate Tech Challenge、海外SUと域内企業とのビジネスマッチング
- ABCプラットフォーム（Asia Business Creation）によるアジアのSUと関西企業とのマッチング
- グローバル・オープン・イノベーション事業（海外インキュベーターや起業家等の招聘） 等

■ スタートアップビザの活用促進、外国人起業家向け相談窓口

- 外国人起業家の誘致からビザ取得、起業・定着まで一貫した支援を行うワンストップ相談窓口（Kyoto International Startup Center）の整備 等

海外SUの拠点開設

- Wada FoodTech（香港SU）：2023年6月 大阪に拠点開設
- QuantumScape Corporation（米国SU）：2021年8月京都進出
- 株式会社LIFESHOT（韓国人SU）：2023年神戸に拠点開設（SUビザ活用）
- 株式会社プロジェクトジャパン（米国SU）：2020年神戸に拠点開設
- スタートアップビザの実績87件

評価と今後の課題

評価

- 国際イベントによる情報発信のみならず、官民連携による誘致に向けたマッチング等により海外SUの誘致実績が出てきている

課題

- 海外SUの誘致に向け事業連携先となるビジネスマッチング先の更なる開拓が必要
- 海外に対する京阪神地区のビジネス魅力の発信、海外SUが活動しやすい環境整備が必要

課題を踏まえた今後の主な取組

誘致プログラム活動強化

- 国際イベントの開催や、海外SUと関西事業会社のビジネスマッチング促進
- 国際会議、海外誘致プログラムによる海外SU誘致（継続）
- KGAP+プログラムによる海外スタートアップの誘致
- 梅田のワーキング「FUTRWORKS」によるデジタルノマドワーカーの受け入れ促進

世界的プログラム展開・連携

- MedTech Actuatorの本格展開（成長期の海外SUとのマッチング）
- 中之島クロスでの海外プレイヤーによる支援プログラムの展開
- EDCON2025（イーサリアム開発者会議が2025年に関西で開催）
- 海外エコシステム拠点とのMOU締結等によるネットワーク拡充 等

関西内のビジネス環境整備

- SUビザの活用促進
- 経済団体等との連携によるマッチング対象となる域内企業等の掘り起こし
- 国際金融都市OSAKAに向けた取組みとの連携 等

※施策の実施主体は、自治体や支援機関、大学、事業会社、団体等、各具体施策の推進者

KPI

海外SUの誘致数（※スタビザ件数含む・累積）

実績：93件（過去5年）

中間目標

93件

最終目標

170件

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

産学公金連携によるディープテックを中心としたスタートアップの成長支援を強化するとともに、事業会社等と連携し領域別の成長支援の環境を強化する。

スタートアップの成長支援

オープンイノベーション

公共調達・社会実証

》》》 これまでの主な取り組み及び実績

■ IT、SaaS系のSU創出支援

▶ 官民連携によるステージに応じたSU支援

- ✓ 官：成長ステージに応じた起業相談、アクセラレーションプログラム等の実施
 - ・OIH、知恵森、起業プラザひょうご等での相談対応、SIO、OSAP、RISING プログラム等
 - ・分野別の支援プログラムの実施（ヘルスクエア、SUITCH、HeCNOS AWARD等）
- ✓ 民：成長期にSUに対する事業化、事業成長に向けた支援
 - ・関西経済同友会：ベンチャーフレンドリー宣言、U-FINO:It's Sta 等
 - ・民間による機運醸成、活動促進（ナレッジキャピタル、QUINTBRIDGE、KOIN等）等

■ ディープテックSUの創出・成長支援

- ▶ 金融機関助成金、関西テックプランター、T-CEP、D-Break、中之島クロス開設
- ▶ KSAC：GAPファンド
- ▶ 起動：産学官によるインキュベーションプログラム、事業資金、協業
- ▶ KSII：SUと産業界のマッチング促進、分野別の支援プログラム
- ▶ 産業創造リーディングゾーン 分野別オープンイノベーション 等

- ▶ EXIT（IPO、M&A）数の増加
- ▶ OSAP採択企業の資金調達総額327億円以上
- ▶ KSACGAPファンドへの大学シーズの採択91件
- ▶ 産学官によるインキュベーションプログラム「起動」立上げ
- ▶ J-Startup輩出28社（関西）、J-Startup Kansai75社、ゼブラ企業輩出16件 等

》》》 評価と今後の課題

評価

- IT・SaaS系のSU
EXITしたSUが輩出され、コミュニティが充実
- ディープテック系のSU
国の支援があり、産学公金の体制が出来、支援メニューが拡充

課題

- 大学等の数のポテンシャルに対しSUの輩出（シーズの発掘、事業化促進）が不十分
- 民間の支援活動が不十分
- 分野別に特化した活動、支援が不足

》》》 課題を踏まえた今後の主な取組

IT・SaaS系等のSU
関連

- OIH機能の拡充：従前のイベント開催スペースに加え、交流・個別相談スペースの設置等のリニューアルを行い、交流・支援機能を向上
- 神戸市におけるスタートアップ支援組織の設立検討
- 成長ステージ、分野別のアクセラレーションプログラムの実施：SIO、OSAP、RISING、Leap Forward HYOGO、SET SAIL！、LED関西、事業承継、ものづくり、大手企業イントレプレナー

ディープ
テック
SU関連

- ▶ 研究シーズの発掘・シーズ事業化促進によるSU候補の輩出
- ▶ KSACによる研究シーズのGAPファンド拡充、経営人材確保の推進によるSU輩出
- ▶ 起動プログラム等による成長支援
- ▶ 民間の活動促進強化（活動資金、事業化支援、M&A推進）等

バイオ・
ライフ
サイエンス

- ▶ 中之島クロス、MedTechActuator等海外進出プログラム展開
- ▶ 神戸医療産業都市レンタルラボ施設等の段階的な整備
- ▶ バイオコミュニティ関西とのグローバルスタートアップアクセラレーションプログラム推進と連鎖 等

グリーン

- ▶ ZET-valleyによる拠点整備やオープンイノベーションによる技術の実装
- ▶ 国際カンファレンス（ZET-summit）の開催 等

デジタル

- ▶ 関西テック・クリエイター・チャレンジ、Blooming Camp等によるプロジェクト創出
- ▶ DEEPTech & AI ACCELERATION PROGRAMの実施等によるプロジェクト創出

》》》 KPI

アクセラ等の支援プログラムへの参加数（累積）

実績：321件（過去5年）

中間目標

430者

最終目標

840者

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

経済団体等と連携し、既存企業のオープンイノベーションの参加を促進するとともに、協業実績創出に向けたビジネスマッチングや交流機会創出など官民の活動を強化する。

スタートアップの成長支援

オープンイノベーション

公共調達・社会実証

》》》 これまでの主な取り組み及び実績

■ 経済団体による活動

- 関西経済連合会：うめきた誓合の場
- 関西経済同友会：ベンチャーフレンドリー宣言、ブリッジフォーラム 等
- 大商：Xport(クロスポート)、3 商工会議所連携事業、MoTto OSAKA等
- 神商：神戸イノベーション・コミュニティ
- 京商：Open Innovation Showcase in Kyoto
- 京都経済同友会経営者と若手起業家交流会 等

■ 民間によるSU支援

- オープンイノベーション拠点等による共創プロジェクト創出
- VCネットワーク立上げ、新たなファンド組成
(ひょうご神戸スタートアップファンド、池田泉州C、バイオサイト、ライトアップVC等)
- U-FINIOによるSU支援コミュニティ組成 等

■ オープンイノベーションの活動促進

- 起動、ひょうごオープンイノベーションチャレンジ So-Iオープンイノベーションコース、京都アクセラレーションプログラム、大企業新規事業担当者サロン、スタートアップ・アライアンス、リンク（協業を目的としたSUピッチ会）、産業創造リーディングゾーン 等

協業実績掲載確認必須

- オープンイノベーションの活動の普及・参画企業の増加
- 参画企業のコミュニティ形成
- 協業実績
宝酒造×ファーマンステーション
NTT ×リージョナルフィッシュ
CONNEXX SYSTEMS×三菱ふそう×向日市 等

》》》 評価と今後の課題

評価

- 経済団体、行政による活動促進等によりオープンイノベーションに取り組む企業が増加、協業実績が出てきている
- 企業集積のポテンシャルに対し、オープンイノベーションの参画企業が十分でない

課題

- 経済団体や金融機関等を通じた大手企業の巻き込みや中堅・中小企業等多様なプレイヤーの参加促進が必要
- 具体的な成果創出につながるビジネスマッチングや実証の機会提供等の活動強化が必要

》》》 課題を踏まえた今後の主な取組

企業の参画促進

■ 自治体施策、民間活動による多様な企業の巻き込み・気運の更なる醸成

- カーボンニュートラルビジネス化推進事業
- ものづくり中小企業とSUの協業促進事業
- 産産・産学連携グループのみを対象とした補助事業（産学公の森推進事業等）
- 共創型ものづくり等支援事業（生産性向上等に向けた企業連携グループ支援）
- うめきた2期JAMBASE開業等を通じた新たなオープンイノベーションの活動促進（BloomingCamp、産総研・関経連うめきたサイト等）
- 金融機関による中堅企業など参加促進 等

協業実績の創出

■ 協業実績創出に向けたビジネスマッチング、機会提供

- 起動プログラムの拡充による協業実績の創出
- 国際オープンイノベーション拠点「産業創造リーディングゾーン」におけるビジネスマッチング
- 関西ブリッジフォーラムでのSUと企業のマッチング促進
- NTT西日本 QUINTBRIDGE、MUIC関西によるプロジェクト推進
起業プラザひょうごやアンカー神戸でのマッチング支援強化 等

》》》 KPI

オープンイノベーションに関する活動に参加する企業数

実績：560社（現時点）

中間目標

740社

最終目標

940社

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

行政による公共調達・社会実証を引き続き促進するとともに、民間活力、リソースを活かした官民連携による社会実証の取組みを強化する。

スタートアップの成長支援

オープンイノベーション

公共調達・社会実証

》》》 これまでの主な取組み及び実績

■ 自治体向けサービスを持つSUとのマッチング

- 起業プラザひょうご、ひょうごテックイノベーション
- Urban Innovation Kobe
- Osakaスマートシティパートナーズフォーラムにおける市町村とSUのマッチング
- 実証事業推進チーム大阪、堺市実証事業
- チャレンジ・バイ制度（京都府新商品・サービス販売促進支援制度） 等

■ 民間企業との実証の促進

- 販路開拓・商品紹介を目的にした商談会やメディアへの紹介等
- 京都府による「Sell through」（SUサービス拡販）、「Sell with」（SUと連携・協業）の実施
- SBIR制度を活用した国・自治体・企業の連携による研究開発・F/Sの実施
- SBIR制度内での行政課題等のテーマ設定
- 先端技術を活用したビジネスのサポート拠点TEQSでの実証実験
- MUIC KANSAI 観光・インバウンドをテーマとしたオープンイノベーション 等

- 代表的な実証モデルの構築
Urban Innovation KOBE
地域・社会課題をSUとの協働で解決する実証を支援。
神戸市でスタートし全国展開 等
- 市町村、民間企業と連携した社会実証の推進

》》》 評価と今後の課題

評価

- 公共調達、市町村・民間と連携した社会実証の推進体制の構築、実績の輩出
- SUの製品・サービスの社会実装の機会が少ない

課題

- SUの製品・サービスの社会実装の機会が少ない
自治体による調達のみならず、民間企業への紹介等、様々なSUの調達機会の提供が必要

》》》 課題を踏まえた今後の主な取組

公共調達・社会実装
機会の創出

新規活動

継続活動

- 万博で披露される新技術等の社会実装の促進
 - 新技術社会実装支援補助金
 - ユニバーサル社会実装化支援事業
 - MUIC KANSAI等民間と連携した万博レガシーの社会実装の推進 等
- 市町村、民間と連携した社会実証の推進
 - X KANSAIソーシャルイノベーション・プログラム 等
- ビジネス開発・育成・実証支援
 - KYOTO CITY OPEN LABO
 - TEQS（ソフト産業プラザ）の実証支援、QUINTBRIDGE、MUIC、KBF、起動 等
- 社会・地域課題解決に向けたSU等との実証支援・横展開支援の継続
 - Urban Innovation JAPAN
 - ひょうごTECHイノベーションプロジェクト
 - So-I 行政課題・地域課題解決コース
 - 大阪スマートシティパートナーフォーラム
 - 産業創造リーディングゾーン
 - SBIR制度内での行政課題等のテーマ設定 等

※施策の実施主体は、自治体や支援機関、大学、事業会社、団体等、各具体施策の推進者

》》》 KPI

公共及び公共の仲介による社会実証の件数

※（ ）は、目標数値の中から公共調達につながる件数

（※2025年4月からの累積）

実績：284件（55件）（過去5年）

中間目標

313件
（39件）

最終目標

466件
（78件）

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

大学毎のアントレ教育の拡充とともに、大学間、大学・地域間の連携を促進させ、地域連携による多様なアントレ教育の展開とネクストステップに向けた活動の促進を行う。

大学関係の取組み

すそ野拡大の取組み

》》》 これまでの主な取組み及び実績

■ 大学によるアントレ教育の推進

幅広く学生を対象にした活動

- 大阪大学 Innovator's Club、立命館RIMIX、近大KINCUBA
- 神戸大学 科学技術イノベーション研究科にて起業家教育を実践
- 関西学院大学KANSEI GAKUIN STARTUP ACADEMY 等

■ 大学による学生起業推進

- 大阪大学Innovators Squad
- 関西大学Hack-Academy
- 近畿大学Lean LaunchPad for TECH 等

■ 地域一体となった活動、地域による大学生向け支援

- KSAC DOON、KANSAI STUDENTS PITCH、THE SEED スタートアップ関西、STARTLINE 等

- 各大学におけるアントレ教育の活動強化
- 大学間連携によるアントレ教育の活動強化

- ・関西圏大学の頂点を決めるピッチコンテスト（KANSAI STUDENTS PITCH）の連続開催
- ・KSAC DOONコミュニティの組成等

大学・地域間連携による活動の強化

》》》 評価と今後の課題

評価

- KSACを中心とし、多くの大学でアントレ教育が実施され、大学間の連携、地域との連携が促進

課題

- アントレ教育は推進されているものの、依然受講者は少ない（文科省調査結果より）
- アントレ教育のネクストステップとなる活動促進が必要

》》》 課題を踏まえた今後の主な取組

機運醸成の取組み強化

- 各大学における多様なアントレ教育、関連イベントの開催
- KSACの活動を通じた大学間連携によるアントレ教育の取組み強化
- 地域における学生向けイベント、インターン促進等による機運醸成事業の活動強化 等

ネクストステップに向けたプログラム・活動

- 教職員・支援者側のレベルアップや体制強化につながる取組
 - URA等の支援人材や教員の育成、コミュニティづくり 等
- エコシステムのキーパーソンとなる人材の育成
 - 京阪神エリアでの分科会の開催 等
- 地域によるネクストステップの活動機会の提供
 - STARTLINE、SIO起業講座、IVS Youth、うめきた 2 期（スタートアップ関西等）等民間の活動 等

※施策の実施主体は、自治体や支援機関、大学、事業会社、団体等、各具体施策の推進者

》》》 KPI

アントレ教育イベント等への参加数（累積）

実績：4,124名（過去1年）

中間目標

12,920名

最終目標

22,530名

プログラム参加学生数（累積）

実績：770名（過去1年）

（実践/大学生等）

中間目標

2,480名

最終目標

4,340名

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

小中高校生やその保護者、若年層、産業界への啓蒙に向け、産業界等と連携し、発信力を高めるとともに、幅広く情報発信を行い、地域の起業・スタートアップへの関心を一層高める。

大学関係の取組み

すそ野拡大の取組み

》》》 これまでの主な取組み及び実績

■ 小中高校生を含む学生を対象としたアントレ教育

- 小中学生の起業アイデア「Kyotoアントレプレナーチャレンジ」実施
- 中高校生向けアントレプレナーシップ「ユースアントレプレナーシップ」プログラム実施
- 日本公庫「Inspire! スタートアップ×高校生 in 京都」、「高校生ビジネスプラングランプリ」
- エンジェル投資家による高校生起業家支援プログラムの開催
- 文科省EDGE PRIMEを通じた人材育成
- 大阪府・兵庫県スタートアップチャレンジ甲子園
- 兵庫県が、県内中高と連携したアントレ教育「ひょうご起業ゼミ」
- 県市、日本政策金融公庫が連携した「Hyogoビジネスブラッシュアップ道場」
- ナレッジイノベーションアワード、IVS YOUTH 等

■ 社会人を対象とした教育プログラムの提供等

- J-StarX（始動コース）コミュニティ、未踏事業・AKATSUKIプロジェクト
- 甲南大学ソーシャルビジネス・アントレプレナー育成プログラム
- 武庫川女子大学起業人材育成講座
- 民間放送（TOKIOテラス）による普及啓発
- KAP（大企業のアントレプレナー人材育成事業）等

- 産学官による小中高生、社会人等すそ野の拡大に向けた活動が強化
- 行政間、官民連携によるすそ野拡大の取組み

》》》 評価と今後の課題

評価

- EDGE Prime等をはじめ、小中高の学生や社会人に向けたプログラムやイベント等の取組みが進められている

課題

- 学生のステークホルダーである保護者、教職員の理解促進、世代別の教育醸成
- 社会で認知される発信力の高い取組み、民間の活動促進が必要

》》》 課題を踏まえた今後の主な取組

■ 民間とも連携した全国区での発信力の高い取組みによる啓蒙活動

- 一般社団法人デジタル人材共創連盟によるデジタル学園祭の実施
- 中高校生等によるデジタル関連活動の全国大会の開催
- EDCON2025を契機とした中高生等への動機づけ
- 次世代イノベーター育成事業「IVS Youth」による、小中高生への段階別支援プログラムの提供 等

■ ハイレベル人材の関西での活動促進

- AKATSUKI事業の継続推進
- 高度デジタル人材育成
- Technology Commercialization & Entrepreneurship Program 等

■ 小中高生、社会人に向けた機運醸成活動

- 小中高校生を含む学生に向けたアントレ教育、社会人を対象とした教育プログラムの実施
- 各世代で必要となるアントレプレナーシップの内容を整理し、年代別にWSを実施 等

》》》 KPI

アントレ教育受講者数（累積）

（高等学校・中学校等）

実績：2,825名（過去1年）

中間目標

8,030名

最終目標

13,890名

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

京阪神を中心にスタートアップ、産学公金の密な連携が出来る関係性が構築されている。今後は関西広域、さらには全国・海外の主要なプレイヤーと連携し、世界有数のエコシステム構築に向け活動を強化していく。

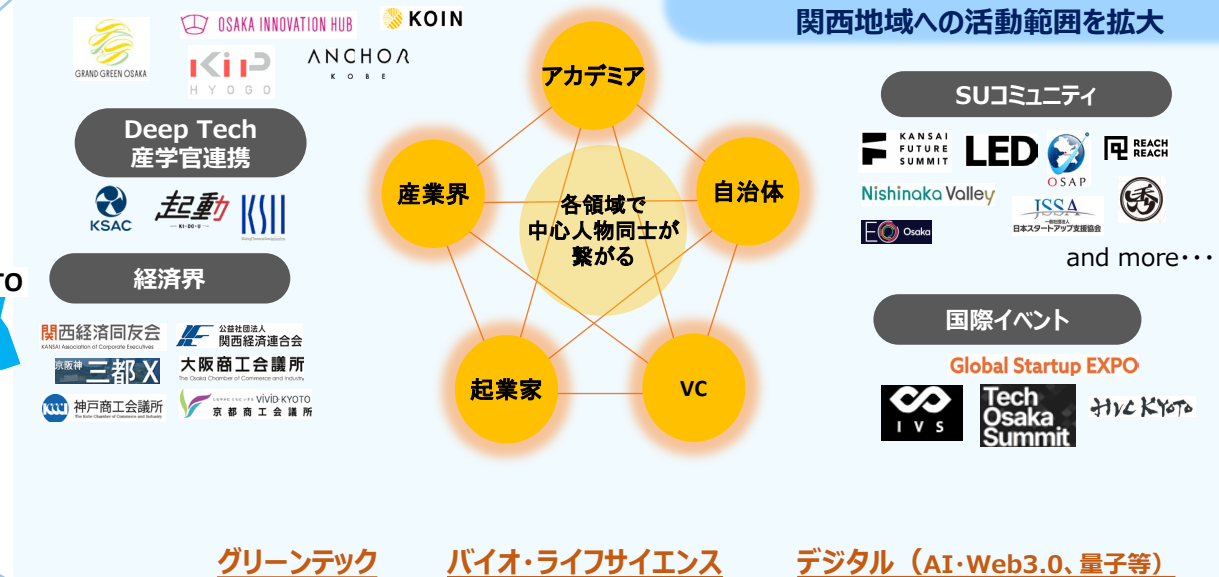
京阪神連携

京阪神の3都市がそれぞれ自立したエコシステムを推進
3都市の産学公金が連携し、
地域一体となったディープテック
をはじめとするスタートアップの
創出、成長支援環境を構築



関西広域連携

KSAC、KSII、関西広域連合等の枠組みを通じ、
関西地域への活動範囲を拡大



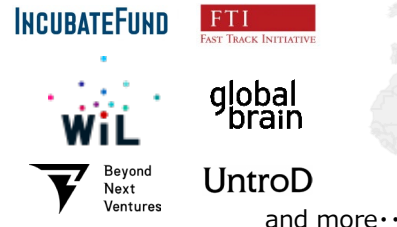
国内外連携

万博、GSE、IVS等国际イベントや各機関の国内外との連携を通じて関西に投資を呼び込みグローバルSUを輩出

地域のハブとの連携



国内VCとの連携



- 関西の有望SUの壁打ち・紹介
- スキルアップ・マインドセット等のワークショップの実施 等

海外連携

- ✓ MEDTECH ACTUATOR (AUS)
- ✓ BioLabs, Berkeley SkyDeck, Counter Part Ventures(USA)
- ✓ SIT (Startup Island TAIWAN) 、Alliance WEST (TWN)
- ✓ One & Co (SGP)
- ✓ Swissnex (CHE)
- ✓ KSAC NEWYORK拠点 (USA) and more....

全体
ビジョン

世界と
シームレ
スに繋が
る

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシ
テム形成
の土台を
作る

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

京阪神各自治体の首長より、今後の産業活性化、地域社会への貢献への期待も含め、SUエコシステムの更なる発展に向けた意志あるメッセージ。

首長コメント及び予算・人員推移

大阪府

＜大阪府知事 吉村 洋文＞

大阪・関西は、2025年の大阪・関西万博開催のインパクトを活かし、世界的なスタートアップ・エコシステムの形成をめざしています。今後、大阪・関西万博のテーマ「未来社会の実験場」を体現するため、多様なイノベーションを誘発するための環境整備を進めていきます。未来社会の実現には、イノベーションの担い手となるスタートアップの活躍が不可欠であり、その新たな価値創出に向けての挑戦を応援します。

大阪市

＜大阪市長 横山 英幸＞

京阪神の中心であるうめきたに、本市施設の大阪イノベーションハブ(OIH)に加え、民間等のイノベーション支援施設が開設されるなど、産学官金が連携したスタートアップ支援の取組が着実に進んでいる。大阪・関西万博を契機に、関西のスタートアップを世界にアピールするとともに、OIHの機能を強化し、更なる成長支援やチャレンジ支援を行い、グローバルで活躍するスタートアップが次々に生まれる好循環を形成していく。

京都市

＜京都府知事 西脇 隆俊＞

拠点都市選定を契機に、産学公金による支援体制が強化され、スタートアップの設立数は倍増、ユニコーンも創出されるなど、京都におけるスタートアップ・エコシステムは着実に成長を遂げてまいりました。次なる5年は、京都が真に世界に伍する拠点として飛躍するための重要な期間であると認識しております。京都の強みである研究シーズの集積やオープンイノベーションの風土、国際都市としての基盤を最大限活用し、次代の日本経済を牽引するグローバル企業の輩出を、総力を挙げて推し進めてまいります。

京都市

＜京都市市長 松井 孝治＞

京都は豊かな伝統文化や伝統産業を源泉に、数々の先端産業を生み出してきたイノベーションのまちです。36の大学や短期大学、人口の約1割を占める大学生の「知」の集積と、人と人、企業と企業の密接なつながりを生かし、大学発ベンチャーやスタートアップの創出を力強く支援することで、誰もが活躍できる「突き抜ける世界都市京都」を実現してまいります。

兵庫県

＜兵庫県知事 斎藤 元彦＞

起業家、スタートアップは今後の産業を担うとともに、地域社会や県内経済に新たな展開を生む原動力だと考えている。兵庫に芽吹き、兵庫を舞台に活躍する事業者を支援すべく取り組んできた。社会課題の解決と収益性の両立に向けたスタートアップ支援や、若者の起業家創出などにより、多数の先進事例を生み出していきたい。

神戸市

＜神戸市長 久元 喜造＞

都市の成長にはイノベーションが必要で、その源泉がスタートアップだ。(中略) 神戸経済成長の一翼を担っている。医療ヘルスケアの分野で国内最大のクラスターに成長した医療産業都市のほか、23年に官民連携で誘致したマイクロソフトのラボも活用し、AI(人工知能)関連の育成にも努めたい。

	予算(千円)	人員(人)
R2	671,634	52
R3	740,265	65
R4	782,754	71
R5	819,121	66
R6	854,446	75
R7	2,639,650	67

	予算(千円)	人員(人)
R2	1,588,312	58
R3	1,370,683	58
R4	1,289,648	59
R5	1,355,703	62
R6	1,456,152	64
R7	1,710,402	76

	予算(千円)	人員(人)
R2	1,303,596	20
R3	833,020	30
R4	888,636	25
R5	787,041	30
R6	671,414	28
R7	1,259,672	29

全体
ビジョン

世界と
シームレスに繋がる

スタート
アップの
成長を支
援する

エコシス
テム形成
の土台を
作る